

平成25年6月21日

各位

不動産投資信託証券発行者名
 東京都千代田区永田町二丁目4番8号
 ニッセイ永田町ビル7階
 大和ハウス・レジデンシャル投資法人
 代表者名 執行役員 瀧美知男
 (コード番号: 8984)

資産運用会社名
 大和ハウス・アセットマネジメント株式会社
 代表者名 代表取締役社長 山田 裕次
 問合せ先 取締役財務企画部長 漆間 裕隆
 TEL. 03-3595-1265

平成25年8月期(第15期)及び平成26年2月期(第16期)の
 運用状況の予想の修正に関するお知らせ

大和ハウス・レジデンシャル投資法人(以下、「本投資法人」といいます。)は、平成25年4月11日に公表した平成25年8月期(第15期:平成25年3月1日~平成25年8月31日)及び平成26年2月期(第16期:平成25年9月1日~平成26年2月28日)における各運用状況の予想を修正することとしましたので、下記の通りお知らせします。

記

1. 修正の理由

本投資法人は、本日、2物件の取得(注)を決定しました。これに伴い、平成25年4月11日に公表した平成25年8月期及び平成26年2月期における各運用状況の予想の修正を行うものです。なお、1口当たり分配金の修正はありません。

(注) 本日付「国内不動産信託受益権の取得に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 平成25年8月期及び平成26年2月期の運用状況の予想の修正

(1) 平成25年8月期の運用状況の予想の修正

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1口当たり分配金 (利益超過分配金は含まない)(円)	1口当たり 利益超過 分配金(円)
平成25年8月期 前回発表予想(A)	7,903	3,599	2,705	2,705	8,300	—
平成25年8月期 今回修正予想(B)	7,946	3,606	2,726	2,726	8,300	—
増減額(B-A)	43	6	21	21	—	—
増減率(%)	0.5	0.2	0.8	0.8	—	—

(注) 平成25年8月期業績予想における分配金総額は、内部留保からの取崩し(193百万円)を含めた金額です。

(2) 平成26年2月期の運用状況の予想の修正

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1口当たり分配金 (利益超過分配金は含まない)(円)	1口当たり 利益超過 分配金(円)
平成26年2月期 前回発表予想(A)	7,941	3,671	2,852	2,852	8,300	—
平成26年2月期 今回修正予想(B)	8,050	3,716	2,898	2,898	8,300	—
増減額(B-A)	109	45	45	45	—	—
増減率(%)	1.4	1.2	1.6	1.6	—	—

(注) 平成26年2月期業績予想における分配金総額は、内部留保からの取崩し(22百万円)を含めた金額です。

す。

【参考】

平成25年8月期：予想期末発行済投資口数 351,870口
 平成26年2月期：予想期末発行済投資口数 351,870口

【注記】

- (1) 上記運用状況の予想は、【別紙】「平成25年8月期及び平成26年2月期運用状況の予想の前提条件」の下に算出した現時点におけるものであり、今後の不動産等の取得又は売却、賃借人の異動等に伴う賃料収入の変動、予期せぬ修繕の発生、不動産市場等の推移、金利の変動、実際に決定される新投資口の発行数及び発行価額並びに本投資法人を取り巻くその他の状況の変化等により、前提条件との間に差異が生じ、その結果、実際の営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益及び1口当たり分配金は変動する可能性があります。そのため、本予想は、分配金の額を保証するものではありません。
- (2) 金額は単位未満の数値を切り捨てて表示しています。以下同じです。
- (3) 本予想における平成25年8月期及び平成26年2月期の分配金の支払原資は内部留保からの取崩しを含めた金額で、「当期純利益」とは異なります。

3. 平成25年8月期及び平成26年2月期の予想における分配金総額及び1口当たり分配金の算出根拠に関する補足説明

(1) 分配金水準について

本投資法人は、平成25年4月11日付「平成25年2月期 決算短信」にて公表したとおり、当面の目標分配金水準を8,300円と設定し、平成25年8月期及び平成26年2月期の1口当たり分配金については、1口当たり当期純利益からの上乗せとして、当期純利益とは別に内部留保（分配準備積立金）の一部を取り崩して支払原資とする方針としております。今回発表の業績予想においても当該内部留保の取崩しを前提として平成25年8月期及び平成26年2月期の予想における分配金総額及び1口当たり分配金を算出しています（注）。

当該予想における取崩額の詳細等については、以下をご参照下さい。

（注）上記目標分配金水準は、本投資法人の定める内部留保の取崩し額算定上の指標であり、当該金額の分配金を保証又は約束するものではありません。

(2) 平成25年8月期予想

	前回発表予想	今回修正予想
当期純利益（1口当たり当期純利益）	2,705百万円（7,689円）	2,726百万円（7,750円）
分配準備積立金取崩額（1口当たり分配準備積立金取崩額）	214百万円（611円）	193百万円（550円）
分配金総額（1口当たり分配金）	2,920百万円（8,300円）	2,920百万円（8,300円）

(3) 平成26年2月期予想

	前回発表予想	今回修正予想
当期純利益（1口当たり当期純利益）	2,852百万円（8,108円）	2,898百万円（8,237円）
分配準備積立金取崩額（1口当たり分配準備積立金取崩額）	67百万円（192円）	22百万円（63円）
分配金総額（1口当たり分配金）	2,920百万円（8,300円）	2,920百万円（8,300円）

以上

※ 本資料の配布先：兜倶楽部、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会

※ 本投資法人のホームページアドレス：<http://www.daiwahouse-resi-reit.co.jp/>

【別紙】
平成25年8月期及び平成26年2月期運用状況の予想の前提条件

項目	前提条件
営業期間及び決算期	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年8月期：平成25年3月1日～平成25年8月31日（184日） 平成26年2月期：平成25年9月1日～平成26年2月28日（181日）
運用資産	<ul style="list-style-type: none"> 本投資法人が本日現在保有する不動産及び不動産信託受益権（以下、「不動産等」といいます。）は125物件です。 本日付で取得を公表した2物件の取得予定資産を加えた127物件（運用資産）が、平成26年2月28日までに異動（新規物件の取得、又は取得済み物件の売却等をいいます。）がないことを前提としています。 実際には運用資産の異動により変動する可能性があります。
投資口の発行	<ul style="list-style-type: none"> 本日現在の発行済投資口数351,870口から、平成26年2月28日までに異動がないことを前提としています。
営業収益	<ul style="list-style-type: none"> 営業収益については、賃料収入、共益費収入、駐車場使用料、付帯収益、水道光熱費収入及び礼金等を含んでいます。これら各項目について、過去実績及び将来予測を基に算出しています。 月末稼働率の期中平均は、平成25年8月期96.0%、平成26年2月期96.0%をそれぞれ見込んでいます。
営業費用	<ul style="list-style-type: none"> 営業費用については、管理業務費、水道光熱費、損害保険料、減価償却費、信託報酬及び修繕費等を含んでいます。固定資産税、都市計画税及び償却資産税は平成25年8月期425百万円、平成26年2月期431百万円をそれぞれ見込んでいます。なお、不動産等の新規取得に伴い前所有者（前受益者）と所有する日数に応じて精算することとなる固定資産税及び都市計画税については、取得原価に算入されるため費用として計上していません。これら各項目について、過去実績及び将来予測を基に算出しています。 販売費及び一般管理費については、個別項目ごとの実績値又は料率等を基に積算しています。 減価償却費については、定額法により算出しており、平成25年8月期1,523百万円、平成26年2月期1,538百万円をそれぞれ見込んでいます。
有利子負債残高	<ul style="list-style-type: none"> 本日現在の有利子負債残高121,740百万円を前提とし、平成26年1月末日に再生債務約3,573百万円の期限返済に伴う同額のリファイナンスを実施し、以降平成26年2月28日まで有利子負債残高に異動がないことを前提としています。
営業外費用	<ul style="list-style-type: none"> 支払利息等（融資関連手数料を含みます。）は、平成25年8月期830百万円、平成26年2月期815百万円をそれぞれ見込んでいます。 投資口交付費として、平成25年8月期に46百万円を見込んでいます。
1口当たり分配金	<ul style="list-style-type: none"> 分配金（1口当たり分配金）は、本投資法人の規約に定める金銭の分配の方針に従い、利益の金額を限度とし分配することを前提としていますが、本投資法人が本書の日付現在設定している目標分配金水準（注）8,300円に対する1口当たり当期純利益からの上乗せとして、当期純利益とは別に内部留保の一部を取り崩して支払原資とすることを前提としており、平成25年8月期193百万円、平成26年2月期22百万円の内部留保（分配準備積立金）をそれぞれ取り崩すことを前提としています。 不動産等の取得又は売却、賃借人の異動等に伴う賃料収入の変動、予期せぬ修繕の発生、不動産市場等の推移、金利の変動、実際に決定される新投資口の発行数及び発行価額並びに本投資法人を取り巻くその他の状況の変化等により1口当たりの分配金の額が変動する可能性があります。
1口当たり利益超過分配金	<ul style="list-style-type: none"> 利益を超える金銭の分配（1口当たり利益超過分配金）は、現時点で行う予定はありません。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 法令、税制、会計基準、上場規則及び投信協会規則等において、上記の予想数値に影響を与える改正が行われないことを前提としています。 一般的な経済動向及び不動産市況等に不測の重大な変化が生じないことを前提としています。

（注）目標分配金水準は、本投資法人の定める内部留保の取崩し額算定上の指標であり、当該金額の分配金の支払を保証又は約束するものではありません。